



技能検定制度・技能士ロゴマーク

令和8年度 後期 国家試験 技能検定受検案内



鳥取県職業能力開発協会

〒680-0845 鳥取市富安2丁目159 久本ビル5F

TEL 0857-22-3494 FAX 0857-21-6020

URL <http://www.hal.ne.jp/syokunou/>

- 受検申請にあたり、全ての方に本人確認書類の添付が必要です。
- 実技試験受検手数料の減免対象者
3級の実技試験を受検する者で、23歳未満の者（平成15年4月2日以降に生まれた者）
2級または3級の実技試験を受検する在校生
- 申請受付は 10月5日(月) から 10月16日(金) まで（10月16日の消印まで有効）
申請書の提出は原則として、書留郵便に準ずるもの（信書便）で送付してください。
必ず中面の受検資格等も確認し、受検手数料を誤入金しないよう注意してください。

技能検定制度は、職業能力開発促進法に基づいて、皆さんの技能の程度を一定の基準により検定し、これを公証する国家検定制度です。厚生労働大臣が定める実施計画に基づき、鳥取県知事及び鳥取県職業能力開発協会が実施しています。

この技能検定は、検定職種ごとに特級、1級、2級、3級及び単一等級に分けて行い、合格すると、特級、1級及び単一等級については厚生労働大臣名、2級及び3級については鳥取県知事名の合格証書と技能士章が交付され、技能士の称号を得ることができます。

令和8年9月1日

1. 実施職種

特級（14 職種）	特級 受検手数料(円)		学科試験日 （令和9年）	実技試験のうち試験日が指定されているもの （令和9年）
	実 技	学 科		
金属熱処理、機械加工、非接触除去加工、金属プレス加工、めっき、仕上げ、機械検査、電子機器組立て、電気機器組立て、空気圧装置組立て、油圧装置調整、建設機械整備、紳士服製造、プラスチック成形	18,200	3,100	1月31日(日)午前	1月31日(日)午後 計画立案等作業試験

1 級・2 級 (23 職種) 単 一 等 級 (1 職種)	1 級・2 級 (26 作業) 単 一 等 級 (1 作業)	1級・単一 受検手数料(円)		2 級 受検手数料(円)			学科試験日 (令和9年)	実技試験のうち試験日が指定されているもの (令和9年)
		実 技	学 科	実 技		学 科		
				在校生以外	在校生			
鍛 造	ハ ン マ 型 鍛 造 作 業	18,200	3,100	18,200	18,200	3,100	1月24日(日)午前	1月24日(日)午後 計画立案等作業試験
機 械 検 査	機 械 検 査 作 業	15,100	3,100	15,100	※3,100	3,100	1月24日(日)午前	1月24日(日)午後 計画立案等作業試験
シ ー ケ ン ス 制 御	シ ー ケ ン ス 制 御 作 業	18,200	3,100	18,200	※3,100	3,100	1月24日(日)午前	1月24日(日)午後 計画立案等作業試験
紳 士 服 製 造	紳 士 既 製 服 製 造 作 業	18,200	3,100	18,200	18,200	3,100	1月24日(日)午前	1月24日(日)午後 1級計画立案等作業試験
配 管	建 築 配 管 作 業	18,200	3,100	18,200	18,200	3,100	1月24日(日)午前	1月24日(日)午後 計画立案等作業試験
	プ ラ ン ト 配 管 作 業	18,200	3,100	18,200	18,200	3,100	1月24日(日)午前	1月24日(日)午後 計画立案等作業試験
型 枠 施 工	型 枠 工 事 作 業	18,200	3,100	18,200	18,200	3,100	1月24日(日)午前	1月24日(日)午後 1級計画立案等作業試験
ガ ラ ス 施 工	(注1)ガ ラ ス 工 事 作 業	18,200	3,100	18,200	18,200	3,100	1月24日(日)午前	1月24日(日)午後 1級計画立案等作業試験
金 属 材 料 試 験	(注1)組 織 試 験 作 業	18,200	3,100	18,200	18,200	3,100	1月24日(日)午前	
農 業 機 械 整 備	農 業 機 械 整 備 作 業	18,200	3,100	18,200	18,200	3,100	1月31日(日)午前	1月31日(日)午後 計画立案等作業試験
冷凍空気調和機器施工	(注2)冷 凍 空 気 調 和 機 器 施 工 作 業	18,200	3,100	18,200	18,200	3,100	1月31日(日)午前	1月31日(日)午後 計画立案等作業試験
防 水 施 工	合 成 ゴ ム 系 シ ー ト 防 水 工 事 作 業	18,200	3,100	18,200	18,200	3,100	1月31日(日)午前	
	塩 化 ビ ニ ル 系 シ ー ト 防 水 工 事 作 業	18,200	3,100	18,200	18,200	3,100	1月31日(日)午前	
	改 質 ア ス フ ァ ル ト シ ー ト ト ー チ 工 法 防 水 工 事 作 業	18,200	3,100	18,200	18,200	3,100	1月31日(日)午前	
機 械 ・ プ ラ ン ト 製 図	(注3)機 械 製 図 C A D 作 業	13,300	3,100	13,300	13,300	3,100	1月31日(日)午前	1月24日(日) 製作等作業試験
さ く 井	ロ ー タ リ ー 式 さ く 井 工 事 作 業	18,200	3,100	18,200	18,200	3,100	1月31日(日)午後	1月17日(日) 判断等試験及び計画立案等作業試験
鉄道車両製造・整備	鉄 道 車 両 点 検 ・ 調 整 作 業	18,200	3,100	18,200	18,200	3,100	1月31日(日)午後	
縫 製 機 械 整 備	(注1)縫 製 機 械 整 備 作 業	18,200	3,100	18,200	18,200	3,100	2月7日(日)午前	
建 築 大 工	大 工 工 事 作 業	18,200	3,100	18,200	※3,100	3,100	2月7日(日)午前	
か わ ら ぶ き	か わ ら ぶ き 作 業	18,200	3,100	18,200	18,200	3,100	2月7日(日)午前	
樹脂接着剤注入施工	(注1)樹 脂 接 着 剤 注 入 工 事 作 業	18,200	3,100	18,200	18,200	3,100	2月7日(日)午前	
塗 装	銅 橋 塗 装 作 業	18,200	3,100	18,200	18,200	3,100	2月7日(日)午前	
空 気 圧 装 置 組 立 て	空 気 圧 装 置 組 立 て 作 業	18,200	3,100	18,200	18,200	3,100	2月7日(日)午後	1月17日(日) 判断等試験及び計画立案等作業試験
鉄 筋 施 工	鉄 筋 組 立 て 作 業	18,200	3,100	18,200	18,200	3,100	2月7日(日)午後	
コンクリート圧送施工	コ ン ク リ ー ト 圧 送 工 事 作 業	18,200	3,100	18,200	18,200	3,100	2月7日(日)午後	1月17日(日) 判断等試験及び計画立案等作業試験
広 告 美 術 仕 上 げ	広 告 面 粘 着 シ ー ト 仕 上 げ 作 業	18,200	3,100	18,200	18,200	3,100	2月7日(日)午後	
電 子 回 路 接 続	電 子 回 路 接 続 作 業	18,200	3,100	-	-	-	2月7日(日)午前	

3 級（9 職種）	3 級（9 作業）	3 級 受検手数料(円)					学科試験日 （令和9年）	実技試験のうち試験日が指定されているもの （令和9年）
		実 技				学 科		
		在校生以外			在校生			
		23歳以上	23歳未満					
			在職者	在職者以外				
シーケンス制御	シーケンス制御作業	18,200	9,200	13,700	3,100	3,100	1月24日(日)午前	
内燃機関組立て	量産形内燃機関組立て作業	18,200	9,200	13,700	3,100	3,100	1月24日(日)午前	
機械・プラント製図	(注3)機械製図CAD作業	13,300	4,300	8,800	○13,300	3,100	1月31日(日)午前	1月24日(日) 製作等作業試験
造園	造園工事作業	-	-	-	-	3,100	1月31日(日)午後	※学科試験のみ実施
家具製作	家具手加工作業	18,200	9,200	13,700	3,100	3,100	1月31日(日)午後	
機械加工	普通旋盤作業	18,200	9,200	13,700	3,100	3,100	2月7日(日)午前	
建築大工	大工工事作業	18,200	9,200	13,700	3,100	3,100	2月7日(日)午前	
機械検査	機械検査作業	15,100	6,100	10,600	2,900	3,100	2月7日(日)午後	
電子機器組立て	電子機器組立て作業	18,200	9,200	13,700	3,100	3,100	2月7日(日)午後	

※印の受検手数料については、高校生に限り実技受検手数料相当額が、奨励金として鳥取県から受検者に支給される（申請が必要）予定です。

○印の受検手数料については、23 歳未満は 8,800 円となります。

（注 1）次の実技試験については、試験設備の関係等で受検人数を制限させていただきます。受付は申請順とし、同じ事業所から複数名の受検申請があった場合は、人数制限をさせていただく場合があります。

ガラス工事作業 12 名程度、組織試験作業 6 名程度、縫製機械整備作業 10 名程度、樹脂接着剤注入工事作業 12 名程度、

上記の実技試験以外でも、試験設備の関係等で受検人数を制限させていただきます場合があります。また、受検者が著しく少ない場合は、実技試験を実施できない場合があります。

（注 2）冷凍空気調和機器施工作業は試験当日、「ガス溶接作業主任者免許証」または「ガス溶接技能講習修了証」の携帯が必要です。事前確認のため、受検申請時に免許証等の写しを添付してください。

（注 3）機械製図 CAD 作業の実技試験は各事業所毎に実施します。実施に係る条件等がありますので、必ず受検申請をされる前にお問い合わせください。

在校生とは、受検申請を行う日の時点で県内に設置されている以下の ① から ⑦ のいずれかに在籍している者

① 公共職業能力開発施設(短期課程)の普通職業訓練を受けている者を除く) ② 認定職業能力開発施設(短期課程)の普通職業訓練を受けている者及び就職者を除く)

③ 高等学校又は中等教育学校の後期課程 ④ 専修学校又は各種学校 ⑤ 高等専門学校 ⑥ 短期大学 ⑦ 大学

実技試験日	実技試験のうち試験日の指定のない試験については、令和8年12月4日(金)～令和9年2月14日(日)の期間内で指定する日が試験日となります。
-------	---

2. 受 検 資 格

技能検定には、特級・1級・2級・3級・単一等級それぞれに受検資格が下表のとおり定められていますが、いずれも検定職種に関する実務の経験が必要です。

● 特 級

同一職種の1級技能検定に合格した者で、その後5年以上その職種の实務経験がある者

● 1 級・2 級・3 級・単一等級

(単位：年)

受 検 対 象 者 (※1)	1 級		2 級		3 級 (※4)	単一等級
	2 級 合格後	3 級 合格後	2 級 合格後	3 級 合格後		
実 務 経 験 の み	7		2		0 (※5)	3
専 門 高 校 卒 業 専修学校(大学入学資格付与課程に限る)卒業	6		0		0	1
短大・高専・高校専攻科卒業 専修学校(大学入学資格付与課程に限る)卒業	5		0		0	0
大 学 卒 業 専修学校(大学院入学資格付与課程に限る)卒業	4		0		0	0
専修学校(※2)又は 各種学校卒業(厚生労働大臣が指定したものに限る。)	800h以上	2	0	0	0 (※6)	1
	1,600h以上		0		0 (※6)	1
	3,200h以上		0		0 (※6)	0
短期課程の 普通職業訓練修了	700h以上		0		0 (※3)	1
普通課程の 普通職業訓練修了	2,800h未満		0		0	1
	2,800h以上		0		0	0
専門課程の高度職業訓練修了	3	1	2	0	0	0
応用課程の高度職業訓練修了		1		0	0	0
長期課程の指導員訓練修了		1		0	0	0
職業訓練指導員免許取得		1		-	-	0

※1：検定職種に関する実務経験、検定職種に関する学科等の卒業者(修了者)に限る。
実務経験年数は申請書受付締切日10月16日(金)現在の実務経験年数をいいます。
合格後の実務経験年数は合格証書記載の合格年月日からの実務経験年数をいいます。
※2：大学入学資格付与課程、大学編入資格付与課程及び大学院入学資格付与課程の専修学校を除く。
※3：総訓練時間が700時間未満のものを含む。
※4：3級の技能検定については、上記のほか、検定職種に関する学科に在学者及び検定職種に関する訓練科において職業訓練を受けている者等も受検できる。
また、検定職種に関する学科に在学していなくても、工業高等学校に在籍する者等であり、かつ、工業高等学校の教員等によると判定された者に講義を受講し、当該講義の責任者から受検に際して安全衛生上の問題等がないと判定された者も受検できる。
※5：検定職種に関し実務の経験を有する者について、受検資格を認める。
※6：当該学校が厚生労働大臣の指定を受けたものであるか否かに関わらず、受検資格を付与する。

3. 試 験 の 免 除

技能検定試験において、実技試験、学科試験が免除される資格、級別、期間の主なもの次のとおりです。申請書提出の際、その資格を証明する書類(コピー)を添えて提出してください。

免 除 資 格 一 覧 表 (抜粋)

免 除 対 象 者	免除される職種・等級及び期間
職業訓練指導員試験に合格した者又は職業訓練指導員免許を受けた者	相当する検定職種の1級、2級及び3級の学科試験は免除
1級の技能検定試験に合格した者	同一検定職種の1級、2級及び3級の学科試験は免除
2級の技能検定試験に合格した者	同一検定職種の2級及び3級の学科試験は免除
3級の技能検定試験に合格した者	同一検定職種の3級の学科試験は免除
単一等級の技能検定試験に合格した者	同一検定職種の単一等級の学科試験は免除
特級の实技試験又は学科試験に合格した者	同一検定職種の特級の实技試験又は学科試験は5年間免除
1級、2級、単一等級及び3級の实技試験又は学科試験に合格した者	同一検定作業の1級、2級、単一等級及び3級の实技試験又は学科試験は免除
建築士法による1級及び2級の建築士の試験に合格した者	建築大工及びブロック建築の1級及び2級並びに枠組壁建築の単一等級の学科試験は免除
建築士法による木造建築士試験に合格した者	建築大工の1級及び2級並びに枠組壁建築の単一等級の学科試験は免除
専門課程の技能照査に合格した後、4年以上の実務経験を有する者	相当する検定職種の1級の学科試験は免除
専門課程の技能照査に合格した後、1年以上の実務経験を有する者	相当する検定職種の単一等級の学科試験は免除
普通課程の技能照査に合格した後、2年以上の実務経験を有する者	相当する検定職種の単一等級の学科試験は免除
技能照査に合格した者	相当する検定職種の2級及び3級の学科試験は免除
短期課程の普通訓練(1級技能士コース)を修了した者	相当する検定職種の1級及び2級の学科試験は免除
短期課程の普通訓練(単一等級技能士コース)を修了した者	相当する検定職種の単一等級の学科試験は免除
短期課程の普通訓練(2級技能士コース)を修了した者	相当する検定職種の2級の学科試験は免除
技能五輪全国大会において技能証の交付を受けた者	相当する検定職種(当該作業)の1級の实技試験は免除
技能五輪地方大会において技能証の交付を受けた者	相当する検定職種(当該作業)の2級及び3級の实技試験は免除
同一検定職種に関し都道府県技能検定委員の職にあった期間が通算して2年以上である者	同一検定職種(当該作業)の1級、2級及び3級の实技試験は免除

4. 受 検 申 請 手 続

(1) 受 検 申 請 方 法

所定の受検申請書に必要事項を記入の上、必要書類を添えて、封筒の表面に「技能検定受検申請書在中」と朱書きし、受付期間内に提出先へ送付してください。

原則として、書留郵便に準ずるもの(信書便)で送付してください。

※申請書は申請書裏面の「記入上の注意」をよく読んで本人が記入してください。

記入例は当協会のホームページに掲載しています。

(2) 受 検 手 数 料 の 支 払 方 法

実技試験及び学科試験の受検手数料を確認の上、別添の専用振込用紙を使用して受付期間内に振り込んだ後、受検申請書に振込通知書(副)を貼り付けてください。

ATM、インターネットバンキング等でも振込は可能ですが、その場合、振込手数料はご負担ください。また、振込が完了したことがわかるものを添付してください。

振込先 鳥取銀行 鳥取支店 普通預金 0072641

口座名義 鳥取県職業能力開発協会

※事業所等で受検者が複数の場合は、受検手数料を取りまとめて振り込んでください。

※免除となる試験の受検手数料は不要です。

※受検申請書を受理した後は、いかなる理由でも受検手数料は返金できません。(ただし、当協会が試験自体を中止した場合は返金します。)

※3級受検手数料表中の「在職者」には雇用保険被保険者が該当します。

「在職者以外」には雇用保険被保険者以外の者が該当します。

※技能検定受検手数料は「非課税」です。そのためインボイス制度の対象外であり、適格請求書(インボイス)は発行しません。また、領収書についても発行しません。

(3) 申 請 書 の 提 出 先

鳥取県職業能力開発協会 〒680-0845 鳥取市富安2丁目159 久本ビル5F

(4) 受 付 期 間

令和8年10月5日(月)から10月16日(金)まで(10月16日の消印まで有効)

(5) 必 要 書 類

①本人確認書類(次のいずれか)

・運転免許証、個人番号カード(個人番号が記載されている箇所は黒塗りすること)、その他日本の官公庁が発行した身分証明書(氏名及び生年月日が確認できるものに限る。)

・健康保険資格確認書

・生徒手帳、学生証(氏名及び生年月日が確認できるものに限る。)など

※申請書裏面の「本人確認書類貼り付け欄」に貼り付けて提出してください。

※貼り付けのない場合、受検資格があっても申請が無効になります。

②実技試験及び学科試験の免除を受ける場合の証明書類

※申請書の「試験の免除」欄に必要事項を記入し、証明書類の写しを添付してください。

※記入がない場合、免除資格があっても免除を受けることができません。

※受検申請を受理した後に、受検区分を変更することはできません。

(6) 受 検 申 請 書 等 の 配 付 先

当協会以外にも、鳥取県立産業人材育成センター倉吉校及び米子校、ポリテクセンター鳥取、ポリテクセンター米子でもお渡しします。

(7) そ の 他

・受検申請書提出後に転居された場合、又は転居の予定がある場合は速やかに当協会までご連絡ください。

・資格、経験年数等申請に偽りがあったときは、受検を取り消すか、合格を取り消すことがあります。

・実技試験及び学科試験の両方の免除を受ける資格のある方は、受付期間内に限り、実施公示された職種以外でも受付します。

5. 受 検 票 ・ 試 験 日 ・ 試 験 会 場

受検票は令和8年11月27日(金)の実技試験問題公表日にあわせて送付します。

※受検票は原則として申請書に記入された自宅宛に送付します。

12月4日(金)までに受検票が未着の場合は、必ず下記までお問い合わせください。

(1) 実 技 試 験

試験問題公表日 令和8年11月27日(金)※公表できない職種を除く

試験実施期間 令和8年12月4日(金)から令和9年2月14日(日)まで

(2) 学 科 試 験 (※全国統一実施：試験日は受検案内の表面に記載のとおり)

実技試験、学科試験の各試験日、集合時刻、試験会場等については受検票で通知します。

6. 合 格 発 表

令和9年3月12日(金)に結果通知を送付します。

※結果通知は原則として申請書に記入された自宅宛に送付します。

また、当協会のホームページでも可否の確認ができます。

なお、実技試験又は学科試験の合格通知は、今後、同一作業、同一級の技能検定を受検する場合に限り、免除資格の証明になりますので大切に保管してください。

7. 技 能 検 定 試 験 の 得 点 の 開 示

技能検定試験の得点(学科及び実技)については、鳥取県個人情報保護条例第19条の規定により、下記のとおり口頭開示請求を行うことができます。

なお、電話・はがき等による可否・得点等に関する問い合わせや、代理の方による開示請求はできません。また、鳥取県職業能力開発協会では得点の開示は行いません。

開示内容 得点(学科及び実技)

開示期間 令和9年3月12日(金)から4月12日(月)まで

上記期間中の午前9時から午後5時まで(土・日・祝日除く)

開示場所 鳥取県雇用人材局 産業人材課
(鳥取市東町1丁目220 県庁本庁舎7階)

持参書類 受検者本人であることを証明できる書類(運転免許証、パスポート等写真付証明書)

問合せ先 電話 0857-26-7222

8. 個 人 情 報 の 利 用 目 的 等

(1) 受検申請書にご記入いただいた個人情報については、受検票の送付、合格発表等技能検定の円滑な実施のために利用します。

(2) 受検申請者ご本人から予め希望しない旨の申し出があった場合を除き、一部の職種(作業)について、関係団体等が実施する講習会の案内の送付等に利用するため、当該関係団体等に個人情報を提供する場合があります。

※希望しない場合は受検申請書の〈個人情報の利用目的等〉の項目の□欄にチェックを入れてください。

9. お 問 い 合 わ せ 先

◎鳥取県職業能力開発協会 〒680-0845 鳥取市富安2丁目159 久本ビル5F
電話 0857-22-3494 FAX 0857-21-6020

◎鳥取県雇用人材局 〒680-8570 鳥取市東町1丁目220
産業人材課(県庁本庁舎7F) 電話 0857-26-7222 FAX 0857-26-8169

技能五輪全国大会鳥取県予選参加案内(後期)

技能五輪は、青年技能者の技能レベルの日本一を競う技能競技大会であり、次代を担う青年技能者に努力目標を与えるとともに、大会開催地の若年者に優れた技能を身近で触れられる機会を提供するなど、技能の重要性、必要性をアピールし、技能尊重機運の醸成を図ることを目的として開催される大会です。

技能五輪鳥取県予選は、技能五輪全国大会に派遣する選手を選抜する予選として、技能検定実技試験と同時に実施されます。

1. 競 技 職 種 …… 予選の競技課題は、技能検定2級実技課題を使用します。

全国大会競技職種	対応検定職種(作業)名
機械製図	機械・プラント製図(機械製図CAD作業)
配 管	配管(建築配管作業)
建築大工	建築大工(大工工事作業)
冷凍空調技術	冷凍空調調和機器施工(冷凍空調調和機器施工作業)

2. 参 加 資 格 …… 平成16(2004)年1月1日以降に生まれた者で、職歴や実務経験に関係なく参加できます。

3. 参 加 申 込 …… 参加申込は、技能検定受検申請書にしたがって手続きしてください。ただし、申請書標題の下に「技能五輪参加」と赤字で記入してください。
参加手数料は、実技受検手数料と同額です。

4. 特 典 …… 一定水準以上の成績を収めた者には「技能証」が交付され、以後、2級の技能検定実技試験が免除されます。

5. 全国大会への推薦 …… 競技職種ごとの成績優秀者は、第65回技能五輪全国大会に推薦します。

令和8年度後期技能検定 実技試験問題の概要

令和8年度(後期)技能検定実技試験問題の概要は次のとおりですが、試験時間・試験内容につきましては一部変更される場合もあります。(最新の状況については中央職業能力開発協会HPをご参照ください。)

なお、試験時間について、「試験時間 ○時間○分」と記載されている場合は、試験開始から終了までの作業可能な時間を表しています。一方、「標準時間 ○時間○分 打ち切り時間 ○時間○分」と記載されている場合は、打ち切り時間まで作業可能ですが、標準時間を超過した時間数に応じて減点されます。

また、**免許又は技能講習**のマークがあるものは、試験当日、労働安全衛生法第61条第1項又は道路交通法第84条に基づく資格証等(例:ガス溶接作業主任者免許証、ガス溶接技能講習修了証、自動車運転免許証)を携帯していなければ、原則として試験を受検することができない他、**特別教育**のマークがあるものは、試験当日、労働安全衛生法第59条第3項に基づく安全又は衛生のための特別の教育を修了した証明書等の原本若しくは写しを提示するか又は特別の教育と同等の知識及び技能を有していることを別途指定する様式により申告していただきます。

令和8年度(後期)技能検定学科試験、実技試験(判断等試験及び計画立案等作業試験)における関係法令、JIS等の各種規格等の記載に基づく出題については、原則として、令和8年4月1日時点で施行されている内容に基づくものとします。ただし、職種(作業)ごとに、実作業の現場における状況等を勘案し、一般的に普及しているものに基づく場合もあります。

【 特 級 】

以下の14職種について、次に掲げる計画立案等作業試験を行う。
計画立案等作業試験は、工程管理、作業管理、品質管理、原価管理、安全衛生管理、作業指導及び設備管理について行う。

試験時間 3時間

金属熱処理、機械加工、非接触除去加工、金属プレス加工、めっき、仕上げ、機械検査、電子機器組立て、電気機器組立て、空気圧装置組立て、油圧装置調整、建設機械整備、紳士服製造、プラスチック成形

【 1・2 級 】

さく井(ロータリー式さく井工事作業)

1級 次に掲げる判断等試験及び計画立案等作業試験を行う。

(1) 判断等試験は、泥水の比重等の測定、地層の鑑定及びコンダクタの管尻の止め位置の判定、泥水及び充てん砂利の選定について行う。

試験時間 24分

(2) 計画立案等作業試験は、掘さく地質、使用機器の判定、揚水試験等について行う。

試験時間 1時間30分

2級 次に掲げる判断等試験及び計画立案等作業試験を行う。

(1) 判断等試験は、泥水の比重等の測定、地層の鑑定及びコンダクタの管尻の止め位置の判定、泥水及び充てん砂利の選定について行う。

試験時間 30分

(2) 計画立案等作業試験は、掘さく地質、使用機器の判定、揚水試験等について行う。

試験時間 1時間30分

鍛造(ハンマ型鍛造作業)

1級 次に掲げる製作等作業試験及び計画立案等作業試験を行う。

(1) 製作等作業試験は、金型をハンマ型鍛造機に取り付け、調整のための試し打ちを行った後、原則として3工程以上の熱間鍛造を行う。また、試験時間外に鋼材の目視温度測定を行う。

標準時間 1時間10分～2時間 打ち切り時間 1時間30分～2時間20分

(2) 計画立案等作業試験は、製品の検査、材料の加工、材料の加熱、製品の欠陥判別等について行う。

試験時間 1時間

2級 次に掲げる製作等作業試験及び計画立案等作業試験を行う。

(1) 製作等作業試験は、金型をハンマ型鍛造機に取り付け、調整のための試し打ちを行った後、原則として2工程以上の熱間鍛造を行う。また、試験時間外に鋼材の目

視温度測定を行う。

標準時間 1時間10分～2時間 打ち切り時間 1時間30分～2時間20分

(2) 計画立案等作業試験は、簡単な製品の検査、材料の加工、材料の加熱、製品の欠陥判別等について行う。

試験時間 1時間

機械検査(機械検査作業)

1級 次に掲げる製作等作業試験及び計画立案等作業試験を行う。

(1) 製作等作業試験

①外側マイクロメータ、ノギス、ハイトゲージ及びシリンダゲージを用いた部品の寸法測定(26箇所)を行う。

試験時間 13分

②歯厚マイクロメータを用いた歯車のまたぎ歯厚測定を行う。

試験時間 5分

③三針法によるねじプラグゲージの有効径測定を行う。

試験時間 3分

④外側マイクロメータの性能判定(ブロックゲージによる指示誤差(器差)及び平行度測定)を行う。

試験時間 8分

(2) 計画立案等作業試験は、高度な精密測定の際の段取り方法、測定方法及び計算式について記述式等で行う問題と品質管理の問題により行う。

試験時間 2時間

2級 次に掲げる製作等作業試験及び計画立案等作業試験を行う。

(1) 製作等作業試験

①外側マイクロメータ、ノギス、ハイトゲージ及びシリンダゲージを用いた部品の寸法測定(21箇所)を行う。

試験時間 11分

②歯厚マイクロメータを用いた歯車のまたぎ歯厚測定を行う。

試験時間 5分

③三針法によるねじプラグゲージの有効径測定を行う。

試験時間 3分

④外側マイクロメータの指示誤差(器差)測定(ブロックゲージ使用)を行う。

試験時間 6分

(2) 計画立案等作業試験は、精密測定の際の段取り方法、測定方法及び計算式について記述式等で行う問題と品質管理の問題により行う。

試験時間 1時間45分

シーケンス制御(シーケンス制御作業)

1級 次に掲げる製作等作業試験及び計画立案等作業試験を行う。

(1) 製作等作業試験は、指示された仕様に基づいて配線作業を行い、回路を完成させた後、プログラマブルコントローラ(PLC)にプログラムを入力し作動させる。

標準時間 2時間10分 打ち切り時間 2時間30分

(2) 計画立案等作業試験は、プログラマブルコントローラ(PLC)のプログラミングとシステム設計に関することについて行う。

試験時間 1時間

2級 次に掲げる製作等作業試験及び計画立案等作業試験を行う。

(1) 製作等作業試験は、指示された仕様に基づいて配線作業を行い、回路を完成させた後、プログラマブルコントローラ(PLC)にプログラムを入力し作動させる。

標準時間 2時間 打ち切り時間 2時間20分

(2) 計画立案等作業試験は、プログラマブルコントローラ(PLC)のプログラミングとシステム設計に関することについて行う。

試験時間 1時間

鉄道車両製造・整備(鉄道車両点検・調整作業)

1級 次に掲げる製作等作業試験を行う。

配電盤、パンタグラフ(又は機関、機関付属機器)、戸閉装置の点検・調整及び台車の測定について行う。

標準時間 2時間10分 打ち切り時間 2時間50分

2級 次に掲げる製作等作業試験を行う。

配電盤、パンタグラフ(又は機関、機関付属機器)、戸閉装置の点検・調整及び台車の測定について行う。

標準時間 2時間10分 打ち切り時間 2時間50分

空気圧装置組立て（空気圧装置組立て作業）

1級 次に掲げる判断等試験及び計画立案等作業試験を行う。

- (1) 判断等試験は、空気圧回路図の判定、検出器（センサ）の判定、空気圧アクチュエータの判定等について行う。

試験時間 45分

- (2) 計画立案等作業試験は、空気圧回路図の読図、装置の調整及び保守点検方法、空気圧装置に関する計算等について行う。

試験時間 2時間

2級 次に掲げる判断等試験及び計画立案等作業試験を行う。

- (1) 判断等試験は、検出器（センサ）の判定、電磁弁の判定、空気圧機器の判定等について行う。

試験時間 45分

- (2) 計画立案等作業試験は、簡単な空気圧回路図の読図、装置の調整及び保守点検方法、空気圧装置に関する計算等について行う。

試験時間 2時間

縫製機械整備（縫製機械整備作業）

1級 次に掲げる製作等作業試験を行う。

- 工業用 2 本針本縫い針送り自動糸切りミシン、工業用 3 本針飾り偏平縫いミシン又は家庭用コンピュータ式ジグザグ本縫いミシンのうち、試験場で指定された 1 機種について分解、組立て、高精度を要する調整及び試縫いを行う。

標準時間 1時間45分 打ち切り時間 2時間

2級 次に掲げる製作等作業試験を行う。

- 工業用高速直針オーバーロックミシン、工業用 1 本針本縫い自動糸切りミシン、工業用 1 本針本縫い総合送りミシン及び家庭用コンピュータ式ジグザグ本縫いミシンのうち、試験場で指定された 1 機種について分解、組立て、調整及び試縫いを行う。

標準時間 1時間45分 打ち切り時間 2時間

農業機械整備（農業機械整備作業）

1級 次に掲げる製作等作業試験及び計画立案等作業試験を行う。

- (1) 製作等作業試験は、電気回路の不良箇所の判定、トラクタの不良箇所の整備、電気回路の配線、傾斜検出センサによる出力電圧の測定、トラクタのバッテリー電圧・充電電圧の測定及びトラクタの点検について行う。

試験時間 50分

- (2) 計画立案等作業試験は、トラクタ、コンバイン、乾燥機等に関し、予防・保守整備、工数見積り及び溶接等の基礎技能について行う。また、乾燥機及びコンバインに関し、故障箇所の発見、故障箇所の整備、点検・調整及び機能の確認について行う。

試験時間 1時間

2級 次に掲げる製作等作業試験及び計画立案等作業試験を行う。

- (1) 製作等作業試験は、電気回路の不良箇所の判定、電磁バルブの整備、電気回路の配線、インジェクションノズルの噴射圧力の調整、可変抵抗器の回転角度による抵抗測定、導線の導通テスト及び抵抗測定、トラクタの点検について行う。

試験時間 1時間5分

- (2) 計画立案等作業試験は、トラクタ、コンバイン、乾燥機等に関し、予防・保守整備及び溶接等の基礎技能について行う。また、乾燥機及びコンバインに関し、故障箇所の発見、故障箇所の整備、点検・調整及び機能の確認について行う。

試験時間 1時間

冷凍空調調和機器施工（冷凍空調調和機器施工作業）**免許又は技能講習**

1級 次に掲げる製作等作業試験及び計画立案等作業試験を行う。

- (1) 製作等作業試験は、銅管及び継手を使用して、フレア加工、曲げ加工、ろう付け等により立体的な冷凍空調設備の配管作業及び気密試験を行う。

標準時間 1時間30分 打ち切り時間 2時間

- (2) 計画立案等作業試験は、冷凍空調調和機器の機能、構造及び故障の発見等について行う。

試験時間 1時間30分

2級 次に掲げる製作等作業試験及び計画立案等作業試験を行う。

- (1) 製作等作業試験は、銅管及び継手を使用して、フレア加工、曲げ加工、ろう付け等により平面的な冷凍空調設備の配管作業及び気密試験を行う。

標準時間 1時間30分 打ち切り時間 2時間

- (2) 計画立案等作業試験は、冷凍空調調和機器の機能、構造及び故障の発見等について行う。

試験時間 1時間30分

- (注) 製作等作業試験については、1、2級とも、労働安全衛生法に基づくガス溶接作業主任者免許証又はガス溶接技能講習修了証その他資格を証する書面の携帯を要する。

紳士服製造（紳士既製服製造作業）

1級 次に掲げる製作等作業試験及び計画立案等作業試験を行う。

- (1) 製作等作業試験は、次に掲げる〔ア及びイ〕の二つの課題を行う。

ア 課題1（ジャケット）

持参した裁断済みの材料によって、シングルのジャケット1着を縫製する。ただし、前身ごろ、後身ごろ（背）、袖、えり及び見返しは、加工したものを持参する。

試験時間 4時間30分

イ 課題2（製図）

「型紙」の製図を行う。

試験時間 30分

- (2) 計画立案等作業試験は、縫製作業工程図について行う。

試験時間 1時間10分

2級 次に掲げる製作等作業試験を行う。

次の課題 A、B 及び C のうち、いずれか一つを選択して行う。

課題 A 持参した裁断済みの材料によって、シングルのジャケット1着を縫

製する。ただし、前身ごろ、後身ごろ（背）、袖、えり及び見返しは、加工したものを持参する。

試験時間 4時間

- 課題 B 持参した裁断済みの材料によって、コート1着を縫製する。ただし、地えり及び見返しは、加工した（穴かがり済みの）もの、また、裏地、ポケット地、小物等は、裁ち合わせ済みのものを持参する。

試験時間 4時間

- 課題 C 持参した裁断済みの材料によって、スラックス2本を縫製する。ただし、ループは、加工した（縫い上がりの）もの、また、腰裏、袋地、小物等は、裁ち合わせ済みのものを持参する。

試験時間 4時間

建築大工（大工工事作業）

1級 次に掲げる製作等作業試験を行う。

隅木小屋組の平面図、隅木小屋組のひよどり栓さし隅木及び配付たる木の現寸展開図を作成し、木ごしらえ及び墨付けをした後、加工組立てを行う。

標準時間 4時間50分 打ち切り時間 5時間

2級 次に掲げる製作等作業試験を行う。

屋根筋かいを用いた小屋組の平面図、振たる木、屋根筋かいの現寸展開図及び基本図を作成し、木ごしらえ及び墨付けをした後、加工組立てを行う。

標準時間 3時間30分 打ち切り時間 3時間45分

かわらぶき（かわらぶき作業）

1級 次に掲げる製作等作業試験を行う。

屋根下地に、引掛け棧葺きにより瓦葺き作業を行う。

なお、軒先には、一文字軒瓦を使用する。

標準時間 4時間 打ち切り時間 4時間30分

2級 次に掲げる製作等作業試験を行う。

屋根下地に、引掛け棧葺きにより瓦葺き作業を行う。

なお、軒先には、万十軒瓦を使用する。

標準時間 4時間 打ち切り時間 4時間30分

配管（建築配管作業）

1級 次に掲げる製作等作業試験及び計画立案等作業試験を行う。

- (1) 製作等作業試験は、給水配管図に従い、エルボ、T（チーズ）等の管継手を使用して配管用炭素鋼鋼管、水道用硬質ポリ塩化ビニル管及び銅管の組立てを行う。

標準時間 3時間30分 打ち切り時間 3時間50分

- (2) 計画立案等作業試験は、配管図から材料を拾い出して、材料表を作成する。

試験時間 2時間

2級 次に掲げる製作等作業試験及び計画立案等作業試験を行う。

- (1) 製作等作業試験は、給水配管図に従い、エルボ、T（チーズ）等の管継手を使用して配管用炭素鋼鋼管、水道用硬質ポリ塩化ビニル管及び銅管の組立てを行う。

標準時間 2時間30分 打ち切り時間 2時間50分

- (2) 計画立案等作業試験は、配管図から材料を拾い出して、材料表を作成する。

試験時間 2時間

配管（プラント配管作業）

1級 次に掲げる製作等作業試験及び計画立案等作業試験を行う。

- (1) 製作等作業試験は、水道用硬質ポリ塩化ビニル管（呼び径75）等をエルボ、フランジ等の管継手で組み立て、接着によりプラント配管系統の一部を製作する作業を行う。

標準時間 4時間 打ち切り時間 4時間30分

- (2) 計画立案等作業試験は、アイソメ図の作成及び作業手順、アイソメ図等による工数等の見積りについて行う。

試験時間 2時間

2級 次に掲げる製作等作業試験及び計画立案等作業試験を行う。

- (1) 製作等作業試験は、水道用硬質ポリ塩化ビニル管（呼び径75・呼び径50）等をエルボ、フランジ等の管継手で組み立て、接着によりプラント配管系統の一部を製作する作業を行う。

標準時間 3時間30分 打ち切り時間 4時間

- (2) 計画立案等作業試験は、配管図による材料取り及び現図型取りについて行う。

試験時間 2時間

型枠施工（型枠工事作業）

1級 次に掲げる製作等作業試験及び計画立案等作業試験を行う。

- (1) 製作等作業試験は、型起こし台（合板パネル）上に、基礎型枠の下ごしらえ及び組立てを行う。

標準時間 4時間40分 打ち切り時間 5時間

- (2) 計画立案等作業試験は、躯体図及び仕様等に従い、型枠加工図（下ごしらえ図）に必要な寸法、パイプサポートの位置等を記入する。

試験時間 2時間

2級 次に掲げる製作等作業試験を行う。

型起こし台（合板パネル）上に、基礎型枠の下ごしらえ及び組立てを行う。

標準時間 4時間 打ち切り時間 4時間20分

鉄筋施工（鉄筋組立て作業）

1級 次に掲げる製作等作業試験を行う。

曲げ加工した鉄筋を使用し、図面及び仕様に従い、基礎、柱及びはりの取合部の鉄筋の組立てを行う。

標準時間 1時間40分 打ち切り時間 2時間10分

2級 次に掲げる製作等作業試験を行う。

曲げ加工した鉄筋を使用し、図面及び仕様に従い、基礎、柱及びはりの取合部の鉄筋の組立てを行う。

標準時間 1時間20分 打ち切り時間 1時間40分

コンクリート圧送施工（コンクリート圧送工事作業）

1 級 次に掲げる判断等試験及び計画立案等作業試験を行う。

- (1) 判断等試験は、写真、イラスト等を利用して、コンクリートポンプに関する設問、工事の計画と実施に関する設問、コンクリートの性質に関する設問等について行う。

試験時間 50 分

- (2) 計画立案等作業試験は、コンクリートポンプの性能と圧送計画、コンクリートの圧送条件・計画、コンクリートの品質、配管計画及び作業等について行う。

試験時間 2 時間

2 級 次に掲げる判断等試験及び計画立案等作業試験を行う。

- (1) 判断等試験は、写真、イラスト等を利用して、コンクリートポンプに関する設問、工事の計画と実施に関する設問、コンクリートの性質に関する設問等について行う。

試験時間 50 分

- (2) 計画立案等作業試験は、コンクリートの性質、スクイズ式コンクリートポンプの構造、コンクリートポンプ車の点検・検査、コンクリートの圧送条件・計画等について行う。

試験時間 2 時間

防水施工（合成ゴム系シート防水工事作業）

1 級 次に掲げる製作等作業試験を行う。

試験台の平場、立上り及び貫通配管回りの各部に合成ゴム系シート防水工事作業を行う。

標準時間 2 時間 30 分 打ち切り時間 3 時間

2 級 次に掲げる製作等作業試験を行う。

試験台の平場及び立上りの各部に合成ゴム系シート防水工事作業を行う。

標準時間 1 時間 40 分 打ち切り時間 2 時間 10 分

防水施工（塩化ビニル系シート防水工事作業）

1 級 次に掲げる製作等作業試験を行う。

試験台の平場、立上り及び貫通配管回りの各部に接着工法及び機械的固定工法による塩化ビニル系シート防水工事作業を行う。

標準時間 1 時間 50 分 打ち切り時間 2 時間 20 分

2 級 次に掲げる製作等作業試験を行う。

試験台の平場及び立上りの各部に接着工法及び機械的固定工法による塩化ビニル系シート防水工事作業を行う。

標準時間 1 時間 50 分 打ち切り時間 2 時間 20 分

防水施工（改質アスファルトシートトーチ工法防水工事作業）

1 級 次に掲げる製作等作業試験を行う。

試験台の平場、立上り及び貫通配管回りの各部に改質アスファルトシートトーチ工法防水工事作業を行う。

標準時間 2 時間 打ち切り時間 2 時間 30 分

2 級 次に掲げる製作等作業試験を行う。

試験台の平場及び立上りの各部に改質アスファルトシートトーチ工法防水工事作業を行う。

標準時間 2 時間 打ち切り時間 2 時間 30 分

樹脂接着剤注入施工（樹脂接着剤注入工事作業）

1 級 次に掲げる製作等作業試験を行う。

- (1) 建築物外壁を想定した試験架台に、浮き部の穿孔^{せんこう}及びエポキシ樹脂の注入作業、ひび割れ部の自動式低圧注入作業、ひび割れ部の U カットシール材充填作業並びに欠損部の補修作業を行う。

標準時間 1 時間 40 分 打ち切り時間 2 時間

- (2) 建築物外壁を想定した試験架台のタイル浮き調査（打診検査）を行う。

標準時間 3 分 打ち切り時間 5 分

2 級 次に掲げる製作等作業試験を行う。

建築物外壁を想定した試験架台に、浮き部の穿孔^{せんこう}及びエポキシ樹脂の注入作業、ひび割れ部の自動式低圧注入作業並びにひび割れ部の U カットシール材充填作業を行う。

標準時間 1 時間 10 分 打ち切り時間 1 時間 30 分

ガラス施工（ガラス工事作業）

1 級 次に掲げる製作等作業試験及び計画立案等作業試験を行う。

- (1) 製作等作業試験は、与えられた試験台、図面等に基づいて、アルミサッシの組立て・取付け作業、板ガラスの切断・加工作業、板ガラスの方立工法・弾性シーリング工法・グレイジングガスケット工法による板ガラスの取付け作業、建築窓ガラス用フィルムの貼付け作業、鏡を想定したガラスの原寸図の製図・切断・加工・貼付け作業を行う。

標準時間 2 時間 50 分 打ち切り時間 3 時間 10 分

- (2) 計画立案等作業試験は、立面図や建具詳細図等に基づき、ガラスの適正な寸法とガラス工事に必要な費用の算出等について行う。

試験時間 1 時間 45 分

2 級 次に掲げる製作等作業試験を行う。

与えられた試験台、図面等に基づいて、アルミサッシの組立て・取付け作業、板ガラスの切断・加工作業、板ガラスの方立工法・弾性シーリング工法・グレイジングガスケット工法による板ガラスの取付け作業、建築窓ガラス用フィルムの貼付け作業を行う。

標準時間 2 時間 20 分 打ち切り時間 2 時間 40 分

機械・プラント製図（機械製図 CAD 作業）

1 級 次に掲げる製作等作業試験を行う。

実技試験問題（計算問題を含む）及び課題図（機械装置を組み立てた状態の図面）から、指定された部品図を CAD により作成する。

試験時間 5 時間

2 級 次に掲げる製作等作業試験を行う。

実技試験問題及び課題図（機械装置を組み立てた状態の図面）から、指定された部品図を CAD により作成する。

試験時間 4 時間

金属材料試験（組織試験作業）

1 級 次に掲げる製作等作業試験を行う。

顕微鏡組織試験（組織写真撮影を含む）、顕微鏡組織判定、マクロ組織及び破面の判定、硬化層深さ測定、結晶粒度判定、非金属介在物の顕微鏡試験について行う。

試験時間 3 時間

2 級 次に掲げる製作等作業試験を行う。

顕微鏡組織試験、顕微鏡組織判定、マクロ組織及びサルファプリント試験結果の判定、硬化層深さ測定、結晶粒度判定について行う。

試験時間 1 時間 55 分

塗装（鋼橋塗装作業）

1 級 次に掲げる製作等作業試験を行う。

- (1) 電動工具及び手工具による旧塗膜除去作業
(2) 塗料の調合作業
(3) 旧塗膜を除去した面の塗装作業
(4) 塗膜厚測定作業

試験時間 1 時間

2 級 次に掲げる製作等作業試験を行う。

- (1) 電動工具及び手工具による旧塗膜除去作業
(2) 塗料の調合作業
(3) 旧塗膜を除去した面の塗装作業

試験時間 50 分

広告美術仕上げ（広告面粘着シート仕上げ作業）

1 級 次に掲げる製作等作業試験を行う。

与えられたアルミニウム複合板（1800mm×450mm×3mm）の光沢面に、仕様及び割付け図に基づき、課題（現代的なデザインのもの）を製作する。

試験時間 5 時間

2 級 次に掲げる製作等作業試験を行う。

与えられたアルミニウム複合板（1800mm×450mm×3mm）の光沢面に、仕様及び割付け図に基づき、課題（現代的なデザインのもの）を製作する。

試験時間 4 時間

[単一等級]

電子回路接続（電子回路接続作業）

単一等級 次に掲げる製作等作業試験を行う。

プリント配線板（以下、プリント板という）に、抵抗器、コンデンサ、トランジスタ等の電子回路用部品をはんだ付けによって接続し、プリント板の組立てを行う。また、シャーシに、電線等の電子回路用部品をねじ締め、圧着及びはんだ付けによって接続し、シャーシの組立てを行う。

ただし、この回路は電子回路としての機能を持たないものとする。

なお、環境問題から、はんだ付けには鉛フリーはんだを使用する。

標準時間 3 時間 打ち切り時間 3 時間 15 分間

[3 級]

機械加工（普通旋盤作業）

3 級 次に掲げる製作等作業試験を行う。

普通旋盤（センタ間の最大距離が 500 ～ 1500mm 程度のもの）を使用し、φ60×115mm 程度の S45C の材料 1 個及びφ60×55mm（φ25mm の穴のあいたもの）程度の S45C の材料 1 個に、内外径削り、テーパ削り等の切削加工を行い、はめ合わせのできる部品を 2 個製作する。

なお、使用するバイトの品種は、超硬、ハイス、その他のものでもよい。

標準時間 2 時間 打ち切り時間 2 時間 30 分

機械検査（機械検査作業）

3 級 次に掲げる製作等作業試験を行う。

作業 1 外側マイクロメータ、ノギス及びシリンダゲージを用いた部品の寸法測定（16 箇所）を行う。

試験時間 16 分

作業 2 三針法によるねじプラグゲージの有効径を測定する。

試験時間 8 分

作業 3 外側マイクロメータの指示誤差（器差）測定（ブロックゲージ使用）を行う。

試験時間 10 分

電子機器組立て（電子機器組立て作業）

3 級 次に掲げる製作等作業試験を行う。

シャーシ、専用プリント配線板、IC、トランジスタ等の部品を用い、光検出器の組立てを行う。

標準時間 1 時間 30 分 打ち切り時間 2 時間

シーケンス制御（シーケンス制御作業）

3 級 次に掲げる製作等作業試験を行う。

指示された仕様に基づいて配線作業を行い、回路を完成させた後、プログラマブルコントローラ（PLC）にプログラムを入力し作動させる。

標準時間 1 時間 35 分 打ち切り時間 1 時間 55 分

内燃機関組立て（量産形内燃機関組立て作業）

3 級 次に掲げる製作等作業試験を行う。

作業 1 内燃機関（ディーゼル機関又はガソリン機関のうち指定するいずれかの機関）の組立てを行う。

2 輪用エンジンの場合 標準時間 1 時間 15 分 打ち切り時間 1 時間 30 分
その他のエンジンの場合 標準時間 1 時間 打ち切り時間 1 時間 15 分

作業 2 提示された内燃機関部品の寸法測定等を行う。

試験時間 10 分

家具製作（家具手加工作業）

3 級 次に掲げる製作等作業試験を行う。

製作図に基づき、手工具を使用して各種仕口工作を行い、わく状の課題を製作する。

標準時間 2 時間 30 分 打ち切り時間 3 時間

建築大工（大工工事作業）

3 級 次に掲げる製作等作業試験を行う。

仕様に従い、柱、桁、はり、棟木、隅木及び平たる木の加工組立てを行い、寄棟小屋組の一部を製作する。

標準時間 2 時間 45 分 打ち切り時間 3 時間

機械・プラント製図（機械製図CAD作業）

3 級 次に掲げる製作等作業試験を行う。

実技試験問題及び課題図（機械装置を組み立てた状態の図面）から、指定された部品図を CAD により作成する。

試験時間 3 時間

